

「(仮称) 第2次宇都宮市都市計画マスタープラン」全体構想(案)について

1 策定の目的

「第5次宇都宮市総合計画」の策定を踏まえつつ、人口減少や少子・超高齢社会等の都市情勢の変化に適切に対応した都市の将来像と整備の方向性を定めることにより、持続可能な都市づくりを実現していくため、平成12年度に策定した「宇都宮市都市計画マスタープラン」の改定を行うもの。

2 これまでの経過

平成20年 9月～ 宇都宮市都市計画審議会（継続審議）
平成21年 2月～3月 「全体構想」素案に関するパブリックコメント、
関係団体との意見交換会、
宇都宮市都市計画審議会（中間答申）

3 内容と特徴

(1) 内容

- ・「(仮称) 第2次宇都宮市都市計画マスタープラン」全体構想(案)・・・別紙1
- ・ 〃 概要版・・・別紙2

(2) 特徴

- 『ネットワーク型コンパクトシティ』の実現を理念に、「暮らしやすさ・集いやすさが持続できる都市」を将来都市像とし、中心市街地を核とした地域特性に応じた各拠点が連携、補完し合う都市構造を目指す中、次の特徴を盛り込んだ。
 - ・土地利用にあたり、市街地の拡散につながる市街化区域の拡大を原則抑制する方針を明示したこと。
 - ・公共交通と自動車を選択的に利用できる市街地・拠点間ネットワークの構築とともに地域特性に応じた交通手段の確保など、交通ネットワークの形成の基本的な方向性を示したこと。
 - ・多様な暮らし方を選択できるよう、地域特性に応じた居住環境の形成の基本的方向を示したこと。
- 都市づくりに必要な交通、緑などの分野別方針に加え、くらしの要素となる環境、防犯、福祉分野を新たに追加した。

4 今後のスケジュール

平成21年6月～ 「地域別構想」素案作成、
地域別ワークショップ
平成22年1月～ 「計画案」に関するパブリックコメント、
宇都宮市都市計画審議会答申
3月 庁議、計画策定・公表